

令和6年10月

一般社団法人日本外科学会
外科専門医制度修練施設および関連施設
施設長 各位

一般社団法人外科系学会社会保険委員会連合
会 長 瀬 戸 泰 之
手術委員長 川 瀬 弘 一

技術評価の適正化のための手術に関する調査の御願い

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より、外保連活動に多大の御協力を賜り感謝申し上げます。

さて、手術の診療報酬を決定する際に、外保連の公開している手術に関する外保連試算のデータが重視されていることは周知の事実であります。この内容は外科医師数、手術時間、技術度などから構成されていますが、時代と共にそのデータにも変化がみられ、一部に現状と乖離しているものがあることも指摘されております。

前回は、令和2年10月から11月の2ヶ月間に調査を行い、その結果から試算を修正し、診療報酬にも反映されました。今回、外保連では日本外科学会の外科専門医制度修練施設（指定施設）および関連施設に、手術試算の信頼度を高めるための調査を御願いすることとなりました。協力いただける施設に過大な負担にならぬように、前回同様、調査項目は極力少なくしております。また、前回同様、調査期間を令和6年10月から11月の2ヶ月間とさせていただきました。

なお、具体的な作業は、手術記録等から調査項目の転記など主に医事課の事務作業が生じることを想定しております。

何かと御多忙のところかとは存じますが、本調査の意義をご理解いただき、御協力の程よろしく御願い申し上げます。

敬具

お手数ですが、外保連のホームページ (<http://www.gaihoren.jp/gaihoren/>) より、エクセルファイルをダウンロードして戴き、調査項目を入力したものを再度、外保連のホームページ (<http://www.gaihoren.jp/gaihoren/>) よりアップロードをしてご提出して戴きたくお願い申し上げます。

期間が短く大変恐縮ですが、1月17日(金) 17時を締切りとさせていただきます。

(前回、延長しましたが、今回は延長せず、その分、後ろ倒しにしましたので、御願い申し上げます。)

***外科専門医制度修練施設（指定施設）および関連施設の指定業務（更新申請、年次報告など）とは一切関係ございません。**

***10月24日現在の施設データを使用しておりますので、ご了承ください。**

***一般社団法人 National Clinical Database (NCD) の事業とも一切関係ございません。**

<実態調査要綱>

【調査方法】

- ・依頼施設：日本外科学会指定・関連施設他（約 2,300 施設）

【調査内容】

- ・前回同様、K 番号全例調査
 - ※麻酔の種類にかかわらず、手術室で施行される、すべての診療科の「保険請求している手術」をご記入下さい。
 - ※単独の場合や保険請求で認められている併施（K529、K5603 など）の場合のみご記入下さい。（併施（手術通則 14 の複数手術に係る費用の特例で認められる場合も含む）はご記入戴かなくて構いません）

【調査項目】

- ・前回同様、2 項目（麻酔時間・手術時間）とする。

【収集方法】

- ・ホームページより、エクセルファイルをダウンロードし、入力後、アップロードする。

【調査対象期間】

- ・2 か月分（10 月 1 日分から遡って 11 月末日分まで）とする。

【提出時期】

- ・1 月 17 日（金）17：00 まで：各施設より外保連へデータ提出（今回、延長はございません）

備考

- ・各科ごとの提出ではなく、施設ごとにまとめてご提出下さい。
 - ※入力結果ファイルは何度でもアップロード可能ですが、同じ医療機関で最後にアップロードされたファイルで上書きされますのでご注意ください。そのため、各科ごとではなく、施設ごとにまとめてアップロードをお願い致します。
- ・ロボット支援手術は他の腹腔鏡・胸腔鏡手術と区別して登録すること

お問い合わせ先・提出先

一般社団法人 外科系学会社会保険委員会連合

TEL:03-6709-1033 FAX:03-6709-1034

mail:office@gaihoren.jp

令和6年10月

一般社団法人日本外科学会
外科専門医制度修練施設および関連施設
施設長 各位

一般社団法人日本外科学会
理事長 武富 紹信
(公 印 省 略)

技術評価の適正化のための手術に関する調査の御願い

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、手術の診療報酬の決定にあたっては日本外科学会も参加する、一般社団法人外科系学会社会保険委員会連合（外保連）の作成した手術に関する外保連試案が、重要な資料になっていることは周知の通りです。この試案の算定根拠の主なものは、手術に参加する医師や看護師などの人数、手術時間、手術の技術度ですが、時代と共にそのデータにも変化がみられ、一部に現状と乖離しているものがあることも指摘されております。

今後より一層、技術評価が重要視されるようになり、外保連の手術試案がさらに重要な資料となるに従い、その内容の検証が強く求められるようになってきております。そこで、外保連より本学会の外科専門医制度修練施設（指定施設）および関連施設に別紙のような調査の依頼がありました。本学会としても、その調査の重要性に鑑み、前回同様、今回も協力することが決定されました。

今回も調査を行うことにご理解いただき、各施設におかれまして、何かと御多忙のところ、恐縮ではありますが、本調査により手術の診療報酬がより適正化される可能性がありますので、御協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

*** 外科専門医制度修練施設（指定施設）および関連施設の指定業務（更新申請、年次報告など）とは一切関係ございません。**

*** 10月24日現在の施設データを使用しておりますので、ご了承ください。**

*** 一般社団法人 National Clinical Database（NCD）の事業とも一切関係ございません。**